

令和6年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
神戸	全県	令和6年度能登半島地震に学ぶ減災フォーラム	一般社団法人おいしい防災塾	4月24日	垂水区文化センターレバンテホール	石川県能登半島地震から4か月。現地にボランティア活動をしてきた方、これから活動しようとしている方、等に登壇頂き、防災について広く伝えるフォーラムを企画 18:00 防災フォーラム 開会あいさつ 5名の登壇者による発表 19:20 5名によるディスカッション 19:30 意見交換会 一般参加者を交える 21:00 閉会 あいさつ	73
神戸	全県	「能登半島地震-これからの防災教育と心のケア」 「兵庫・神戸の防災教育30年」	防災教育学会	6月15日 6月16日	関西国際大学尼崎キャンパス	日 時: 2024年6月15日(土)15時45分～17時00分(予定) シンポジウム「能登半島地震-これからの防災教育と心のケア」 登壇者(案): 中野元太 先生(京都大学大学院)、室崎友輔さん(NPO法人兵庫県防災士会理事長)、小寺真穂 さん(震災学校支援チームEARTH・兵庫県立舞子高校教諭)、前川良栄さん(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科) 他 日 時: 2024年6月16日(日)14時30分～17時00分(予定) シンポジウム「兵庫・神戸の防災教育30年」 講演者: 中溝茂雄 先生(神戸親和大学) シンポジウムコーディネーター 中溝茂雄 先生(神戸親和大学 教授) 登壇者 田中達也 先生(神戸神和大学 講師)、柴田真裕 先生(桃山学院教育大学 講師)、小崎遼介 先生(環太平洋大学 助教) 他	915
阪神北	全県	第30回兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)犠牲者追悼のつどい あなたの思いを灯してください ～失った命の数をろうそくの灯火に込めて～	ボランティア団体 ユー・アイ・アソシエーション	1月16日 ～ 1月17日	伊丹市昆陽池公園南広場	ろうそくによる追悼行事とパネル展示 ・ろうそくによる追悼行事 震災翌年より毎年実施している追悼行事。 追悼とともにいかにして生きるかという開催テーマをもうけ、命の尊さ、減災への啓発、継承のテーマに沿ったメッセージをろうそくで絵にする。 ・パネル展示 ボランティア活動等の展示	1800
神戸	全県	阪神・淡路大震災から「30年目の手記」の募集と活用	阪神大震災を記録しつづける会	3月29日他	KIITO(デザインクレイティブセンター神戸)	・「30年目の手記」の募集と公開 阪神・淡路大震災にまつわる手記を募集します。住んでいる場所や震災の直接的な経験の有無に限らず、震災直後から時間が経ったことで語れる、より多様な経験を集めることを目指します。2024年1月から募集開始しておりますが、集まった手記を2024年4月以降に広く公開していく活動を行います。また、震災を中心に災害経験を表現や記録活動等を行う講師を招き、トークイベントを行います。2024年4月末から数ヶ月に一回のペースで行い、最終のフォーラムをKIITOで行う予定です。それによって普及の相乗効果を狙います。	2000

令和6年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
神戸	全県	個別避難計画作成研修	一般社団法人兵庫県社会福祉士会	4月1日 ～ 3月31日	オンデマンド研修	高齢化や社会福祉施設等からの地域移行が進み、地域で暮らす避難行動要支援者が、増加している。災害リスクを正しく理解し、避難行動要支援者と共に避難するための知識とスキルを身につける。 福祉専門職や自治体職員等と協力して個別避難計画を作成し、「誰一人取り残さない防災」を目指して、地域住民に働きかける手法を学ぶ。 1(講義)『災害と災害対策基本法～防災リテラシーの重要性～』(約30分) 2(講義)『避難行動要支援者の理解～多様性と地域のつながり』(約30分) 3(動画視聴)『大分県別府市の避難行動要支援者支援の取り組み』(約30分) 4(講義)『個別避難計画作成における避難支援等関係者連携の重要性』(約20分) 5(演習)『個別避難研修作成手順』(約50分)	120
神戸	全県	117KOBEBぼうさいマスタープロジェクト	117KOBEBぼうさいマスター育成会議	4月1日 ～ 3月31日	神戸新聞社本社会議室 他	若い世代への防災・減災活動普及プロジェクト ①ぼうさい出前授業・ワークショップの実施 ②ぼうさいWEB検定の実施 ③117KOBEBぼうさいマスター育成のための市民救命士講習の実施 ④NPO、企業等との連携・協業による「ぼうさいワークショップ」の実施 ⑤避難所体験の実施 ⑥有識者、語り部による震災学習 ⑦ぼうさいこくたいへの参加 ⑧被災地へのボランティア活動の実施	1500
神戸	全県	第15回全国学生防災書道展	全国学生防災書道展実行委員会	2月7日 ～ 2月9日	兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー	全国防災書道展の開催 ・防災救命や復興支援、自然災害に関わる文言や表現を題材にした書を各県教育委員会を通じて、全国から公募 ・優秀な防災書道作品約650点を選考し、展示 ・文部科学大臣賞、復興大臣賞、県知事賞など賞を設け、表彰式を行う	3000
神戸	地域	夏休みキッズ狂言教室・夏休みキッズ狂言会～狂言『神鳴』にまなぶ防災～	志芸の会	8月2日・9日 21日・22日 23日・25日	神戸市立灘区民ホール	阪神・淡路大震災30年や今年元旦からの国内外の被災を受け、防災に対する意識向上の一助となるべく、災害をテーマとした狂言『神鳴』を、公募した地域の子どもたちとともに上演する。 ◎上演演目 大蔵流狂言『神鳴』 講師／出演 神鳴役・薬師役 志芸の会会員(能楽師大蔵流狂言方・善竹忠重ほか) 地謡役 公募参加の小学生～中学生および志芸の会会員 教室(お稽古およびリハーサル)では、謡の歌詞の意味や雷の対処方法等も教授し、狂言会では、プロの能楽師とともに演目『神鳴』に出演する。 また会場のロビーには、灘区民ホールの大震災時の被災状況を写したパネルも設置し防災の意識を高める。	121

令和6年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
神戸	全県	阪神淡路大震災継承事業 第二十回競基弘賞授賞式と講演会 ～震災を語り継ぐ～ ～災害時の救助活動、被災者支援への取り組み～	特定非営利活動法人 国際レスキューシステム研究機構	1月11日	兵庫県立神戸生活創造センター	受賞式及び受賞者の記念講演会 ・「競基弘賞※」の授与式及び記念講演会 ※阪神・淡路大震災で亡くなった若き研究者(当時神戸大大学院生)にちなんで設立された賞 災害分野で活動(活躍)した若手を奨励するための授賞式の実施 ・災害救助関連の資機材を研究開発する研究者による講演 ・受賞者による最新研究開発の内容・活動報告等、実災害の現場でどのように役に立つのかを交えた講演 ・被災地で被災者支援活動に従事し被災者支援の仕組みづくりに携わる医療従事者による講演 ※YouTubeによるライブ配信を実施。	60
阪神南	地域	アルカイツク防災訓練コンサート2024	公益財団法人 尼崎市文化振興財団	9月7日	あましんアルカイツクホール	『アルカイツク防災訓練コンサート 2024』 〈第1部〉防災士:藤田朝代氏による講演 〈第2部〉陸上自衛隊音楽隊によるコンサート ※コンサート中の地震を想定し参加者全員で避難訓練を行います。	483
神戸	全県	震災30年・経験と教訓の継承 リメンバー神戸プロジェクト	リメンバー神戸プロジェクト	10月12日～11月11日	WALL GALLERY	震災から30年、災害の痕跡は消え、体験者は半減、「震災遺構 神戸の壁」は体験を伝え、災害を繰り返さないことを継承する道標として生きている。「神戸の壁」を伝え、学んだことを南海トラフ地震に活かす活動。この想いを現代美術を通じて、地震・津波は自然の営み、共生・備えをした文明を築くことを発信。行事名称:震災30年継承「遺構・神戸の壁・現代美術展」	2100
中播磨	地域	ラジオで学ぶ防災・減災『あなたの防災』	GENKI防災研究所	9月2日～10月4日	株式会社姫路シティFM21 (FM GENKI)	いつかは発生する南海トラフ巨大地震や山崎断層帯地震。甚大な被害が予想されるこれらの大災害が起きた時に被災地域で展開される公助について、能登半島地震被災地に派遣された消防官、警察官、自衛官らへのインタビューを通して知るとともに、そこから見てきた課題のほか自助や共助のあり方について考えるラジオ番組(30分×5回)を制作し、中・西播磨地域に発信する。 番組:30分×5回(+再放送 各2本ずつ) 出演:消防官、警察官、自衛官、行政職員 GENKI防災研究所(一般有志) 山田 賢(FM GENKIディレクター) 放送:FM GENKI(79.3MHz)※ネットでも配信	45000

令和6年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
神戸	全県	レスキューロボットコンテスト2024	(一社)アール・アンド・アールコミュニティー	8月10日～ 8月11日	神戸サンボーホール	レスキューを題材としたロボットコンテストの開催と併設展示を通して、次世代を担う学生や子供たち、彼らを見守る保護者などあらゆる年齢層に対して防災・減災の重要性を啓発し、さらには将来の防災・減災へ貢献できる人材育成を通しての科学技術のすそ野拡大を目指し、毎年継続して開催している。 【レスキューロボットコンテスト】 震災で被災した家屋の中に閉じ込められた要救助者を模したダミー人形を、遠隔操縦を主としたロボットによりいかに迅速かつやさしく救助するかを競う。特徴は以下の通りである。 ① コンテストの演出を工夫し、子供たちを含む一般の観客にも親しみやすく競技会を観戦できるとともに、一昨年から刷新した競技フィールドを用いた競技の中に実際のレスキュー活動の要素を多く取り入れることで、楽しみながらレスキューの重要性とともにその難しさも実感できるようにした。 ② (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構の行司高博氏による能登半島地震を題材とした特別講演 ③ オンライン配信も引き続き行い、全国からレスコンや特別講演を気軽に視聴いただき、防災・減災の重要性を啓発するとともに、次回以降の現地での競技会観戦を誘う。 【併設展示「あそぼう！まなぼう！ロボットランド」】 消防、防災、ロボット技術に関連するブース出展と参加型イベントを競技会と併設で実施し、特に子供たちへの科学技術の楽しさと防災の大切さを啓発する。競技会と補完し合いながら、防災・減災の啓発と科学技術のすそ野拡大を目指す。	5324
神戸	地域	(第2回) えほんで防災	ベルスト鈴蘭台・北区役所管理組合	10月6日	ベルスト鈴蘭台すずらん広場	阪神・大震災から30年、震災を知らない若い世代、幼い子どもに、防災の大切さをわかりやすく伝える。 ・防災絵本の読み聞かせ ・高校生、大学生による防災に関するワークショップ ・防災絵本の展示 ・AEDの使い方など救急法のワークショップ	500
阪神南	全県	1.17は忘れない まちキャラパークin西宮ガーデンズ 2024	まちキャラパーク実行委員会	11月23日	西宮ガーデンズ(スカイガーデン&スカイホール)	① はばタンの防災・減災ステージ 親子で参加し、自助を学ぶ。防災グッズの事を学ぶクイズや、家族で自宅から災害時に避難するマイタイムラインの大切さなどを学び新世代に繋ぐ。 ② 未来特救ゴッドイーグル 共助ステージ ローカルヒーローたちと共に共助を学ぶ。いざという時にはみんなが誰かを助ける事を学び誰もが誰かのヒーローとなる事を呼びかける。高齢者見守り対策や、避難命令がでた時に素早く判断できるように学ぶ。またシェイクアウト訓練や、AEDの使い方も伝え1.17を知らない世代に災害時の共助の大切さを会場だけでなく学校などで友達に伝え繋いでいける企画として展開。	1500
東播磨	全県	2024ひょうごまちなみガーデンショーin明石 Children's day 事業	2024ひょうごまちなみガーデンショー実行委員会	9月23日	県立明石公園	2024年、ひょうごまちなみガーデンショーは32回目を迎える。新たな取組として、普段はガーデニングや防災に馴染みの無い親子や高校生を対象としたイベント「Children's day 事業」を開催し、次代を担う子ども達の防災意識の向上の契機とする。 兵庫県園芸・公園協会の管理する7公園は地域防災拠点公園に指定され、三木総合防災公園では防災備蓄品の備蓄も行っていることから、今回初めて行うChildren's day 事業では「地震に学ぶ防災」をテーマとして、参加の親子やコーラス参加の高校生達に地震の経験や教訓伝えることとし、阪神・淡路大震災から30年の節目に発行された「bosai100年えほん」を活用した絵本読み聞かせや防災クイズへの参加、起震車体験、災害及び防災パネル展示等を通じて、経験や教訓の伝承を図っていく。 Children's day 事業を通じて、子ども達が楽しみながら、地震防災の伝承に繋げる取組とする。	580

令和6年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
神戸	地域	令和6年度東灘防災・安全のつどい	神戸市東灘防火安全協会	11月14日	神戸市東灘区文化センター	東灘区民、事業所の防災力の向上及び防災意識の啓発を図り、東灘区の安全で安心なまちづくりを目指すため、神戸市東灘防火安全協会が主催する事業として開催する。	500
神戸	全県	第10回全国被災地語り部シンポジウム in 阪神・淡路	全国被災地語り部シンポジウム in 阪神・淡路実行委員会	12月7日～12月8日	① ホテルオークラ神戸 ② 北淡震災記念公園野島断層保存館 ③ 人と防災未来センター ほか	阪神・淡路大震災から30年、社会の多様な面で世代交代が起こっています。防災・減災における体験・人智は時代を超え繋げることができます。それが「災害語り部」であり、それを繋ぐのが「全国被災地語り部シンポジウム」です。プログラムは2日間で構成し、阪神・淡路大震災震災遺構の護岸横に立地するホテルオークラ神戸においてシンポジウム、分科会、未来セッション、全国の語り部パネル展示を行います。さらに、阪神・淡路大震災の断層を保存する北淡震災記念公園と災害記録の人と防災未来センターを訪問する語り部プログラム等を組んでいます。兵庫県全域から参加いただき、災害語り部の先達の雲仙普賢岳、地震被災地の能登、新潟県、津波の東北、水害の広島の実験者とともに全国へ参加を広く呼びかけます。被災地から語り部や被災者、日本に住む外国人が集い、繋がり、自らの経験を伝え意見を交換し、命を守るための語り継ぎ活動を全国へ広げます。	250
神戸	全県	防災市民サミット2024 & 防災ガイドブック VOL.10	特定非営利活動法人ユニバーサル・スポーツ振興協会	①10月4日 ②10月26日 ③2025年1月～3月	① うみのほし大久保(介護施設) ② 兵庫県民会館1202号室(耐震工事の場合変更) ③ 主催団体事務所	① 市民救命士育成講習会 明石市消防局防災センターより防災士を招聘し、介護施設において介護士向けにAEDを使った心肺蘇生法などの非常時の救命措置を学ぶ。 ② 防災市民サミット 復興支援に携わる民間NPO団体を招聘し、能登半島地震被災地での活動報告と学識者による講演「世界で多発・激化する災害に国際貢献できる防災技術」 ③ 防災ガイドブック 学校、職場、地域で実践できる最新の防災教育や被災地での支援活動を掲載した小冊子を製作し、県内外の教育委員会他、公共施設に頒布	134
神戸	全県	2024年度災害と障害者のつどい「阪神淡路大震災から30年！当時の記憶と教訓を継承しよう！～あの人の声が聞こえますか？～	特定非営利活動法人兵庫障害者センター	1月19日	兵庫県学校厚生会館3階大会議室	1. 朗読 阪神淡路大震災当時の記憶「あの人の声が聞こえますか？」 当時、出版された本や手記をもとに朗読 多様な障害種別の方の声を紹介 2. シンポジウム「30年前の記憶と教訓を今後に活かしていこう」 コーディネーター 福祉防災コミュニティ協会 湯井 恵美子 氏 阪神・淡路大震災を知らない若い世代をはじめ多くの人に震災当時の記憶を伝え、障害のある人の声を聞き、一人ひとりが何をするか考えるきっかけにします。	114
西播磨	全県	西播磨フロンティア祭2024	西播磨フロンティア祭実行委員会	10月26日	播磨科学公園都市芝生広場	「大阪・関西万博」に向けた機運醸成や、阪神・淡路大震災からの「創造的復興」理念の共有・継承を図るとともに、次世代科学技術の展示や体験等を通じた播磨科学公園都市の賑わい創出と、西播磨地域の連携・交流の促進を目的として、ステージイベントやブース展示等を実施。	18000
神戸	全県	難病患者と災害支援大震災が難病患者に問いかけること～阪神・淡路大震災30年を振り返り能登半島地震につなぐ～	一般社団法人兵庫県難病団体連絡協議会	10月27日	あすてっぶKOBЕ セミナー1、2	講演 ① 「阪神・淡路大震災から30年を振り返る」 櫻井 誠一氏 ② 「能登半島地震における健康管理支援」 神戸市健康局保健所保健課課長 池田 敦子氏 ③ 「能登半島地震の今昔と神戸からの発信」～難病・透析患者の備えをつなぐ～ 兵庫県透析医会 災害対策委員長赤塚 東司雄氏 かいべ循環器・透析クリニック 技術顧問 森上 辰哉氏 講演者によりディスカッションを行う	70

令和6年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
神戸	全県	阪神淡路大震災30年特別企画 救急救命士災害医療シンポジウム	救急救命士災害医療シンポジウム実行委員会	2月2日	神戸商工会議所会館	阪神・淡路大震災から時が経ち、東日本大震災、能登半島地震など多くの自然災害が発生する中、救急・救助に関わってきた救急救命士の過去の経験を、今後の災害医療活動や大規模マَسギャザリングイベントの医療体制構築などに活かすべく、シンポジウムを開催し全国の救急救命士に共有する場とする。 実行委員長：菊池悠（神戸市消防局）兵庫県救急救命研究会 メインセッション：シンポジウム 救急救命士の災害対応～阪神淡路大震災30年企画～	210
神戸	全県	キッズ防災検定	特定非営利活動法人 検定協議会	令和6年11月1日～令和7年3月31日	兵庫県下の小学校	兵庫県下の小学校に告知し、申し込みがあった学校に問題と解答を郵送、もしくはデータで送信する。神戸市については神戸市教育委員会より広報いただく。合格者には、認定証を発行する。 また、受験料や認定証の発行費などの費用はすべて無料とする。 10年連続受験校には賞状を授与する。希望校に賞状の授与式を行う。 HP・SNSにて防災についての知識を広めていく。	15000
神戸	地域	令和7年(第27回)東灘市民放水大会	東灘市民放水大会実行委員会	1月26日	①住吉川河川敷(新落合橋北側) ②住吉川東緑地(住吉川給水拠点)	区民による「安全で安心なまちづくり」への年頭行事として位置づけ、区民の憩いの場である住吉川を中心に区民(防災福祉コミュニティ、各種団体、企業等)約1,100名以上が一堂に集い、大地震の犠牲者に追悼の意を表すとともに、消防ポンプによる放水を行うことにより、防災意識の向上と地域の活性化を図る。また、事業を通じて地域全体へ震災時の経験と教訓を継承する。	1290
神戸	全県	イザ！カエルキャラバン！in藤原台みんなの祭り2024	藤原台みんなの祭り実行委員会	10月20日	エコール・リラ ショッピングセンター 3F ふれあいひろば	イザ！カエルキャラバン！（ワークショップ） ①毛布で担架タイムトライアル ②ジャッキーUPゲーム ③お家の防災グッズなあに？クイズ ④家具転倒防止間違い探し ⑤救急救命訓練(AEDと心肺蘇生)：藤原台防コミ ⑥災害疑似体験VR訓練：北消防有馬出張所 ⑦非常食試食体験 ワークショップをめぐり、スタンプを集めた数に応じて、非常食試食や参加賞を獲得してもらいます。ワークショップオペレーターの運営軽減のため、ハンズフリー小型メガホンを購入します。 自治会会員の高齢化対策として、地域で活動しているボーイスカウトがワークショップ運営に参加協力します。 イザ！カエルキャラバン！のHPやFacebookで情報を公開、開催告知を行います。	600
神戸	全県	神戸防災のつどい2025	災害対策セミナー実行委員会	1月19日	神戸市立中央区文化センターほか計4か所	・各団体主催セミナー(10:00～17:00)(中央区文化センター会議室) ・神戸学院大学、117KOBEBぼうさい委員会の学生、民間企業等によるワークショップ(13:00～17:00)(中央区文化センター、危機管理センター、神戸・三宮センター街1丁目) ・神戸市、報道機関、民間企業等によるパネル・防災グッズ等の展示(13:00～17:00)(神戸・三宮センター街1丁目) ・子どもを対象とした神戸市防災関係施設の見学会 ・市内の小中学校・高校の児童生徒による震災学習の成果発表、展示(13:00～17:00)(神戸ココリエーションセンター)	9000

令和6年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
神戸	全県	民団防災対策委員会事業「阪神・淡路震災30年事業」	韓国民団兵庫県本部 防災対策委員会	10月5日 11月24日	10/5ふたば学舎運動場他施設 11/24野島断層保存館記念館、その他	1 防災の日事業(10/5) ・いざという時に備えて、防災に関する討論会や訓練を通じて、防災・減災を共に考える一日とする。(クロスロード、防災グッズづくり、市民救命士講習他) 2 防災運動会(10/5) ・防災に関連する訓練を運動会形式で行うことにより、防災体験をみんなで共有し防災意識を高める機会とする。(水消火器、担架体験、バケツリレー他) 3 防災体験事業(11/24) ・防災に関する意識向上と対策力強化のために防災施設での体験、学習を行う(野島断層保存館、震災体験館)	270
神戸	全県	防災士Presents KOBE JAM vol.2	一般社団法人防災 JAM	11月3日	なぎさ公園	「防災がカルチャーとして根付いていくように」をテーマとして、災害の経験や教訓の伝承の重要性を再認識し、私たち一人ひとりが防災にふれる機会にしたいと考えています。カルチャーとして日本に根付いている「音楽」、「ダンス」、「飲食」に加えて、「防災」も災害が多い国内でカルチャーとして根付いていけるように4つをひとまとめにしてカルチャーの融合発信を目指します。 ◆ステージ 海上自衛隊呉音楽隊、KIDS DANCEなど ◆防災関連団体・企業のテント出展・展示 ◆食の分野で飲食キッチンカーの展示 ◆車両展示(神戸消防局、自衛隊、兵庫県警察など)	12200
神戸	全県	(公社)兵庫県建築士会 阪神・淡路大震災30年記念事業	公益社団法人兵庫建築士会	令和7年 1月25日	こうべまちづくり会館	阪神淡路大震災後に発災した全国各地の大地震の経験を踏まえ、今建築士にとって震災対応として何ができるのか立ち止まって熟考する機会とし、この30年間に培った知見をもとに新たな対応へと進む事が出来る、研鑽、学びとなる事業として記念講演会、パネルディスカッションを開催する。 第1部 記念講演会 講演者 神戸大学名誉教授 室崎益輝氏 第2部 パネルディスカッション テーマ:震災復興はどのように行われたか貴重な体験談を情報共有しフロアの参加者を交えた意見交換をもとに、今後の災害に対処するための新たな知見を学び、「震災対応 新時代へ」の提言をまとめる。 コーディネーター:渡邊一洋氏(兵庫県建築士会災害対策委員長) パネラー:宮城、石川、熊本、兵庫建築士会代表者4名+室崎益輝氏	138
北播磨	全県	犠牲者を追悼し震災をおもい起こす事業	神戸・心絆	令和7年 1月17日 3月11日	三木市立市民活動センター駐車場 名取市震災メモリアル公園	県内各地で竹を切り出しのこぎりで定めた長さに切り、竹灯ろうを作成。ローソクも再生ローソクを作り、1月17日には宮城県名取市の東日本大震災被災者・遺族を迎えて共に追悼を行ない交流をする。 3月11日には兵庫から希望の灯りを持参し、神戸心絆メンバーも現地へ行き、竹灯ろうで追悼式を行なう。	150
神戸	全県	阪神淡路大震災1.17のつどい	阪神淡路大震災1.17のつどい実行委員会	令和7年 1月17日	東遊園地	阪神淡路大震災1.17のつどいの開催・運営 毎年1月17日に神戸市中央区の東遊園地で竹灯籠を並べて「1・17」の文字を描き、参加者に灯りを灯してもらうとともに、5時46分・17時46分に震災犠牲者に対し黙祷する。会場内にボランティアの方たちやご遺族、また震災を経験していない若い人たちが共に集うことによって、震災経験を次世代に伝えていく語り継ぎの場とする。	75000

令和6年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
神戸	全県	慰霊と復興のモニュメント震災を忘れないブースの設置と銘板追加式典	NPO法人阪神淡路大震災1.17希望の灯り	12月15日 令和7年 1月24日～ 2月2日	慰霊と復興のモニュメント	「阪神淡路大震災1.17を忘れない」エリアの設置・運営 阪神淡路大震災の鎮魂と復興を願って毎年開催されている神戸ルミナリエの開催期間中に、主催団体である「神戸ルミナリエ組織委員会」と協働で、メイン会場である東遊園地にある「慰霊と復興のモニュメント」内にて、震災を知らない若い世代が中心となって来場者の方々に震災の出来事を語り継ぐことのできる場所として設置・運営する。昨年度から日時が1.17後に移動し、神戸ルミナリエ事業と併せて、同様のエリアを設置し、震災を忘れず語り継ぐ活動とする。 「銘板追加式典」 毎年、慰霊と復興のモニュメント内にある瞑想の空間に、震災で亡くなられた方々のお名前をご遺族と一緒に銘板として追加する銘板掲示式典を実施する。今年度は10名の方の銘板掲示を予定。	3000
神戸	全県	震災の教訓を明日へつなごう!! 長田2025	阪神淡路大震災長田復興コンサート実行委員会	令和6年 12月17日 令和7年 1月17日	神戸市立駒ヶ林中学校体育館 ピフレホール他	【1/17コンサート】 ① 吹奏楽演奏・合唱(県立長田高等学校吹奏楽部・音楽部)② 被災地からの現状報告(岩手県大槌町 予定)③ 五木ひろしさん、佐渡裕さんによる「震災を語る」 ④ 五木ひろしミニコンサート⑤ 佐渡裕指導・指揮、長田区6中学及び長田高校による「アフリカンシンフォニー」の合同演奏及び「みんなで歌おう」⑥ 阪神・淡路大震災30年の誓い・感謝の言葉(中高生代表)など 【12/17シンポジウム】 ① 講演「歴史に学ぶ減災の知恵～地域の震災の記録から～」講師 県立兵庫津ミュージアム名誉館長 田辺真人氏② ピアノ演奏 神戸女学院大学非常勤講師 坂本恵子氏 ③ 鼎談と合唱「しあわせ運べるように」田辺真人氏、坂本恵子氏、臼井真氏(神戸親和大学准教授) 【震災を伝える巡回パネル展の実施】 神戸県民センター、長田区内各中学校等での巡回展示を行う。	957
阪神北	地域	第19回震災を忘れないメモリアルコンサート	特定非営利活動法人ええうた工房	令和7年 2月24日	いたみホール 中ホール	過去18回行なってきました「震災を忘れないメモリアルコンサート」の第19回目の開催になります。第10回目から「ジョイント」形式として、他の団体と協力して開催する形を継続しており、今回も5団体でのコンサートになります。阪神淡路大震災から30年目になりますが、その間東日本大震災や熊本地震・北大阪・今年1月の能登地震など多く発生しています。また地震のみならずほかの自然災害時でも助け合いの精神や準備行動は重要です。具体的な防災対策やアップデート情報の共有をしながらの内容にします。	135
阪神北	地域	～震災の教訓とともに未来に繋ぐ～第17回宝塚チャリティ歌謡コンサート	花かわち倶楽部	令和7年 1月5日	宝塚市立文化施設ソリオホール	① マグニチュード7の地震発生を想定し、防災特別推進員を先頭に参加者全員による会場内から会場外への避難訓練を実施する。 ② ～みんなで逃げよう発生時～ということで、避難口避難路を通過の避難訓練の実施。 ③ 防災特別推進員がステージ上でコンサート前にスクリーン、パンフ等を使ってミニ講座を開催する。	180
阪神南	全県	第43回アルカディアイースターコンサート追悼の祈りと希望のコンサート	公益財団法人アルカディア音楽芸術財団	令和7年 3月4日	兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール	[曲 目] シューベルト ・アヴェ・マリア Op.52-6, D.839 G.ホルスト ・組曲『惑星』Op.32より“木星”(ジュピター) カッチーニ ・アヴェ・マリア ペルゴレージ ・スターバト・マーテル(悲しみの聖母)[抜粋] ほか [出 演 者] 指揮,フルート,プロデューズ・中村 八千代 ソプラノ・寺本 郁子 ピアノ・内田 博世、高瀬 芙紀子、大塚 紀子 チェロ・永野 恵子 女声合唱・アルカディア室内合唱団(女声)&アルカディア・グローバル合唱団	183

令和6年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
神戸	地域	阪神・淡路大震災から学んだ みんなの居場所 繋ぐ	Meオアシス	11月30日	リバティールーム カーナ	阪神淡路大震災30年や国内での災害を通じて培ったみんなの居場所。共助、自助のあの方を井戸端会議風にフォーラムを開催する。 基調講演 がんばろう神戸代表 堀内正美 落語会 桂 三若 防災士 相崎佐和子によるディスカッション 司会 木戸さだかず お客様も巻き込んで みんなの居場所 をテーマにディスカッションする。	24
神戸	地域	1.17KOBEに灯りをin ながた	1.17KOBEに灯りをin ながた実行委員会	令和7年 1月17日	JR新長田駅前広場	1) ペットボトル灯籠を「ながた1.17」の文字の形に並べる。 文字前に中学生によるコーラスステージも設置する。 2) 鎮魂の想いを込めた和太鼓演奏とともに、側面に追悼メッセージが書かれたLED紙灯籠を並べる。 3) 手作りろうそくを竹筒に浮かべ、竹灯籠を灯す。 4) FMわいわいの会場内放送。 5) 防災の情報発信・ワークショップ・交流の場の提供。 6) 募金。 7) 防災学習・ろうそく作りのワークショップ。 (事前に地域の小中学校にて実施) 8) 牛乳パック募金箱・竹募金箱作りワークショップ。 (事前・当日にボランティアが参加して実施) 9) 炊き出し。	1500
神戸	全県	阪神淡路大震災から30年 メモリアルコンサート 次世代へ歌い継ぐ	Lux in Kobe 実行委員会	令和7年 1月13日	神戸市立東灘区文化センター(うはらホール)	阪神・淡路大震災から30年の節目の年である、2025年1月に被災地である神戸市の「うはらホール」にてメモリアルコンサートを開催する事業です。出演する声楽アンサンブル「カメラータ神戸」は震災当日が初の練習日でありました。そして震災直後から、音楽を通して被災者の方々に希望と勇気を与えるための慰問を主に活動を続けて参りました。この度のコンサートでは「Lux in Kobeミサ曲」を演奏します。この曲は阪神・淡路大震災の犠牲者の鎮魂と復興への希望を託して作曲しました。2005年には兵庫県神戸市復興事業の一環として国内10都市、パリ・アントワープ諸都市でも演奏しています。本事業ではオーケストラの演奏に合わせてその歌声を届け、兵庫県外からのお客様や、幅広い年代のお客様に聞いて頂く事で、震災の記憶を次世代へ繋ぐ事が出来ると考えています。	241
神戸	全県	1.17震災メモリアル行事「阪神・淡路大震災を忘れない～21世紀を担う私たちの使命～」兼ひょうごユース防災・減災ワークショップ	ひょうごユース防災・減災ワークショップ実行委員会	令和7年 1月15日	兵庫県立舞子高等学校	本校生徒、中学生および地域住民が参加し、阪神・淡路大震災の犠牲者を追悼するとともに、阪神・淡路大震災を体験した様々な分野の方から当時のお話を聞き、災害の理解を深める。 全体会では阪神・淡路大震災を経験した方の講演や「震災30年を越えて伝えたいこと」をテーマとしたパネルディスカッションをおこなう。分科会では、ライフラインや救助活動についてのお話を聞く。その他に自衛隊と協力し、避難所での生活体験(テント・簡易トイレ・段ボールベット等)や炊き出しの試食などを経験し、災害時に何が出来るか、その時に何が必要かを考えることができるようにする。	1100
神戸	地域	神戸500人委員会避難防災学習「伝える・活かす・備える」	こころ豊かな人づくり神戸500人委員会	令和7年 1月17日	ハット神戸なぎさ公園	東北・熊本震災時の当「こころ豊かな人づくり神戸500人委員会」の支援活動のパネル展示、各区の防災ガイドの手渡し、備える防災ドリルを活用し、展示ドリルの解答及び解説を参加者と共に語り合う場を設ける。また、阪神淡路大震災時の体験や現状の備えについてお互いに話し合う場として交流を深めたい。	100

令和6年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
神戸	地域	兵庫区防災フェスタ 震災30周年特別事業	兵庫地区防火安全協会	11月29日	みなとがわホール	(1) 講演会 地域で創る安心・安全な社会 ～救急・災害の視点から～ (2) 防災功労表彰式 地域の防火防災に顕著な功績のあった事業所、防災福祉コミュニティ、個人、消防団員及び消防職員等を表彰し、区民等に広報する。(広報媒体: 広報こうべ兵庫区版 58,000部/月)	200
阪神南	全県	陸上自衛隊中部方面音楽隊 阪神・淡路大震災30年 —『忘れない』『伝える』『活かす』『備える』『繋ぐ』—	陸上自衛隊中部方面音楽隊後援会	令和7年 1月18日	神戸文化ホール(大ホール)	陸上自衛隊中部方面音楽隊による、阪神・淡路大震災犠牲者の追悼の演奏と発災以来、災害派遣として出動した自衛隊による被災地住民の救助・救援・生活支援・復旧・復興支援活動の実情とその検証と総括と教訓を踏まえ、『忘れない』『伝える』『活かす』『備える』『繋ぐ』ことを目的として、小林弘樹陸上自衛隊中部方面総監の防災講演を受けて、予想される、南海トラフ巨大地震に備える「自助・互助・共助」の意識の向上につなげると共に、自衛隊兵庫地方協力本部の作成したDVDの阪神・淡路大震災の被災状況と救援活動及び、復旧・復興支援などの映像を舞台上に投影するするとともに、ロビーでも写真展示を行い、阪神・淡路大震災を体験していない世代に追体験してもらい、被災体験を風化させることなく『繋ぐ』ことを目指す。	1800
阪神南	全県	震災30年 —『忘れない』『伝える』『活かす』『備える』『繋ぐ』—	アンサンブル・ピリカ	令和7年 1月19日	兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール	阪神淡路大震災から10年ごとに「1.17は忘れない」祈念コンサートを開催しています。作曲家の中西覚が作った鎮魂と希望の歌を演奏します。阪神淡路大震災の詩集から「歌わなければ」東日本大震災からはカンタータ「希望」そして神戸発・防災士音楽ユニット「Bloom Works」ともご縁があり、Bloomin～笑顔の花咲いた～も歌わせていただきます。ゲストにKAZUさんたちをお迎えして、防災士としてコメントをいただきたいと思っています。他に何か出来ることを模索中で、西宮市のさくらFMIにもご協力いただく予定です。	289
神戸	地域	阪神・淡路大震災30周年事業 第18回 「防災を考える区民のつどい」	神戸市灘防火安全協会	令和7年 3月2日	神戸市灘区民ホール及びホール周辺の都賀川公園	震災30周年事業として震災の教訓を未来に繋ぐ、参加者が見る・学ぶ・体験することができるイベントを開催する。通電火災と感震プレーカー、震災時に役立つ便利用品、防災ジュニア等の地域の防災活動の展示、ARやVRを利用した災害体験や起震車により地震を体験することで災害への備えを促す。また、神戸学院大学の防災女子による実演を踏まえた震災への備えの講習、防災士を取得した落語家の月亭八光さんが講演でその志と使命感、震災の教訓を未来につなぐ思いを語り、鷹匠中学校が震災30周年制作した合唱曲を披露し、震災の教訓を未来に繋ぐ。	400
神戸	全県	神戸防災のつどい 2025	NPO兵庫県防災士会 (神戸防災のつどい実行委員会)	令和7年 1月19日	神戸市中央文化センター	第一部 基調講演 「災害時の女性の大切さ」のような内容 第二部 パネルディスカッション コメンテーター: 基調講演の講師	80

令和6年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
淡路	地域	阪神・淡路大震災30年事業	阪神・淡路大震災30年事業実行委員会	令和7年 1月17日 ～1月18日	北淡震災記念公園、 国生み神楽みゆーじ あむほか	阪神・淡路大震災から30年の節目に際し、国内各地の被災地の取組の状況を踏まえ、今後の防災、減災に向けた取組を考える機会とするためフォーラムを開催する。 鎮魂の歌：藤岡まゆみ氏 学習発表：兵庫県立淡路高等学校 基調講演：神戸大学室崎益輝名誉教授 コーディネーター：北淡震災記念公園 パネリスト：① 稲むらの火の館、② 雲仙岳災害記念館、 ③ 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館、④ 中越メモリアル回廊 ⑤ 熊本地震震災ミュージアムKIOKU、⑥ 人と防災未来センター	350
神戸	全県	1.17鎮魂と語り継ぐために 第25回特別演奏会	公益社団法人アンサンブル神戸	令和7年 1月25日	神戸新聞松方ホール	神戸市民からなる「神戸21世紀混声合唱団」と関西を代表するオーケストラ「アンサンブル神戸」による演奏でポルトガルの作曲家J.D.ボンテンポのレクイエム他を演奏する。この演奏会に様々な災害に遭遇された方々を70名招待する。合唱団は2024年8月より毎週1回練習を行い、オーケストラメンバーには2か月前に楽譜を配り練習してもらう。公演2日前から全体練習を行う。 管弦楽 アンサンブル神戸 合唱 神戸21世紀混声合唱団 ソプラノ 老田 裕子 アルト 大賀 真理子 テノール 西影 星二 バリトン 高橋 純 指揮 矢野 正浩 当日ホールロビーにて神戸大学名誉教授、田結庄良昭氏による南海トラフ地震を想定した防災対策をレクチャーする。	470
神戸	全県	阪神・淡路大震災30年 企画展 1995 ⇄ 2025 30年目のわたしたち	阪神・淡路大震災30年展実行委員会	令和6年 12月21日 ～令和7年 3月9日	兵庫県立美術館	阪神・淡路大震災から30年にあたり、6組7名の現代美術作家による展覧会を開催する。発災後と10年後、30年後に被災地で撮影された写真(米田知子)をはじめ、30年前と現在との繋がりを、震災30年目の今ここで生きるわたしたちにとり重要な題材を掘り下げる作品群を紹介する。 出品者：國府理／東芋／田村友一郎／森山未来、梅田哲也／やなぎみわ／米田知子	13608
阪神南	全県	関西学院大学 災害復興制度研究所 2025年復興・減災フォーラム	関西学院大学 災害復興制度研究所	令和7年 1月11日 ～1月12日	関西学院会館(ハイブリッド開催)	阪神・淡路大震災から30年を迎える2025年、関西学院大学災害復興制度研究所は「阪神・淡路大震災30年、問い直そう—私たちの被災者責任・これからの被災地責任」をメインテーマに2日間の日程で2025年復興・減災フォーラムを開催する。初日の「全国被災地交流集会・円卓カフェ」では、哲学カフェ形式で「KOBEからのメッセージ 私たちが遺すべきもの」をテーマに被災地神戸が未災地に向けて果たすべき役割について議論を深める。2日目は、シンポジウム形式で、専門家による講演やパネルディスカッションを通じて、過去の教訓を未来につなぐための知見を共有する。	205
神戸	地域	年末防災訓練地域交流と震災30年1・17追悼の集い	長田区日吉5丁目町内会	令和6年 12月22日 令和7年 1月17日	日吉町5丁目ポケットパーク	① 年末防災訓練地域交流 2024年12月22日(日)9:00～17:00 ・長田消防署指導による防災訓練 ・炊き出し(もちつき・おにぎり) ・震災30年1・17追悼集会への参加の呼びかけ ② 震災30年1・17追悼集会 2025年1月17日(金) 5:00～7:00 ・黙祷～献花 ・炊き出し(豚汁・ぜんさい) ・パネル展示 ※1月12日のiウォークの日から展示	400
神戸	全県	国際復興フォーラム2025	「国際復興フォーラム2025」実行委員会	令和7年 1月28日	神戸ポートピアホテル	国連等の国際機関や行政、関係団体と連携し、被災地の災害経験やそこから得られた教訓、復興過程における将来の災害に備えた取組について、情報共有や知見の交換を行うため、「国際復興フォーラム2025」を開催する。 ※ 詳細については現在調整中のため、決定次第、随時報告します。	424

令和6年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
神戸	全県	「災害時におけるより良い支援のあり方を考える」 社会貢献学会第15回大会 フォーラム	社会貢献学会第15回大会実行委員会	令和6年 12月14日 令和7年 1月11日	神戸学院大学ポートアイランド第一キャンパス	社会貢献学会は、災害時における支援活動を中心に研究・活動する学会であり、社会貢献・ボランティアに関わる研究成果を社会へ広く還元しています。 今回は「能登半島地震の被災状況と支援活動について」をテーマとし、田中純一先生（北陸学院大学教授）、吉椿雅道氏（CODE事務局長）中田敬司先生（神戸学院大学教授・DMAT）をパネリストとしてお招きし、江田英里香（神戸学院大学教授）のコーディネートのもと能登半島地震の復旧状況と支援活動の現状を確認したうえで、これからの支援の在り方を市民・学生とともに考えていきます。 また、NPO法人映像記録によるワークショップ「災害映像の意義と制作」を実施し、災害映像の意義を実際の編集を通して考える機会を市民や学生に提供します。 以上、災害時の社会貢献活動の発展・普及を中心に、幅広く防災・社会貢献の成果の発信と研究者、学生、市民の交流促進を図ることを目指します。	500
阪神北	地域	三田で災害を考える フォーラム	三田太鼓	令和7年 2月9日	三田市まちづくり協働センター多目的ホール	① 阪神淡路大震災の記憶を共有する講演 ② 防災に関する講演 ③ 阪神淡路大震災の記録写真展示 ④ 災害、防災に関する展示、体験ブース	120
神戸	全県	第19回 竹下景子～ 詩の朗読と音楽の夕べ～	復興支援コンサート実行委員会	令和7年 1月17日	神戸文化ホール	阪神・淡路大震災発生後より、復興支援コンサート実行委員会として活動を開始。「竹下景子 詩の朗読と音楽」を兵庫県を中心に全国で開催。県民などから震災や復興に関連する詩を募集し、女優・竹下景子氏の詩の朗読と音楽で被災体験を語り継ぎ、震災を思い起こすきっかけとしてコンサートを実施する。 朗読：竹下景子氏 演奏：アン・サリー氏、ギター担当者、チキンガーリックステーキ	880
神戸	全県	災害時課題解決公募 アイデアブラッシュアップのためのワークショップ開催	認定NPO法人しみん基金・こうべ	11月及び令和7年 1月以降の複数日	中央区文化センター他	この30年に培われた教訓、そこからの知見に触発された解決につながるアイデア（提案・提言）を、次なる災害に活かすための「災害時の課題解決アイデアを募集するプロジェクト」として公募を8月より実施しています。（添付の企画書参照） 本申請では、外部審査員により審査し顕彰された優れたアイデアに、さらに多様な意見を取り入れるため、専門家や同じ分野の他団体メンバーだけでなく、一般募集も加え、ワークショップをアイデアごとに実施しブラッシュアップを行います。	40
神戸	全県	防災・減災シンポジウム(2025) 「防災力向上を目指したまちづくりと防災技術	公益社団法人 日本技術士会近畿本部	令和7年 1月17日	神戸市中央区文化センター	各地で災害が発生するなか、災害リスクを少なくするためには、自分たち自身や地域コミュニティの防災力の向上が大事となります。 昨年 災害対策基本法が改正され個別避難計画の作成が市町村に努力義務化されました。 防災に関する地域組織の課題を取り上げ、また専門家から防災技術の紹介などの話題提供を頂き、地域防災力の向上について意見交換をします。 ○基調講演： 講演テーマ 「阪神淡路大震災から30年 今後の災害に備えたまちづくりについて(仮)」 講師：野崎 隆一氏(近畿災害対策まちづくり支援機構 共同代表、一級建築士) ○話題提供： 講演テーマ「事前の備えと復旧、復興 大規模災害に向けて ～南海トラフ地震、和歌山豪雨、能登半島地震、奥能登半島豪雨～(仮)」 講師：上田 知史氏(海南市総務部主幹/(現在 能登町へ長期派遣中)) 講演テーマ「令和6年能登半島地震を踏まえた水道の地震対策における課題」 講師：谷口 靖博氏 (アジア航測(株)、技術士)	122

令和6年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
阪神南	地域	あの日を忘れない～ 中之町公園1.17希望 の灯り～	あの日を忘れない～ 中之町公園1.17 希望の灯り～実行委 員会	令和7年 1月19日	中之町公園、田中公 会堂	(1)「あの日」を忘れず、明日につなぐ 希望の灯りのもとで、語り部による体験談、追悼のピアノ演奏、復興の歌で、「あの日」 を偲び、「あの日」に学び、明日への備えをはかる。 (2) 生活拠点の地の新たなコミュニティの輪づくり この地で「あの日」を体験した者、今この地で生活する者の手によるイベントの企画、実 施、体験を通して、新たなコミュニティの育成をはかる。 (3) 住まいの伝統技術「左官」の伝承 募集した地域住民の手で希望の灯り「土灯籠」を作成。モノづくりの楽しさと、住まいづく りの伝統技術「左官」の伝承をはかる。	410
阪神北	全県	負けない 忘れない 3.11 —ここから生まれ る未来 びっくり箱 Part.14	「みんな元気になろう・ びっくり箱」実行委員 会	令和7年 3月9日	宝塚市立文化施設ソ リオホール 及びソリ オ1	本事業では、プロの舞台芸術創造団体による人形劇や演劇、コンサート、芸能等の舞 台上演に加え、震災に関するシンポジウム、地元商店街・百貨店をエリアにした参加型 街遊びなど地域と共に創るプログラムを実施します。 この催しは、2011年3月11日の東日本大震災の惨事を風化させず、被災地を支援し 続けたいという思いで、児童青少年向けの公演を行う関西の劇団や創造団体が中心と なり、2011年より毎年開催、2014年から開催地を阪神・淡路大震災の被災地でもある 宝塚市に移し、2024年で14回目を迎えます。親子で舞台芸術などを体験してもらうと共 に、創造団体と公共ホールと地域が一体となり、震災後の現在・未来について、今自分 たちができることをあらためて考える機会をつくります。 参加団体は無償で上演や実演を提供。また、この催しによる収益と会場募金は、「宝塚 市文化財団芸術文化基金被災地こども支援「びっくり箱基金」を通じて被災地の子ども の文化活動支援に役立てる経費に活用します。	353
神戸市	全県	「被災地から学ぶ」学 習会	兵庫手話通訳問題研 究会	11月4日	神戸市立長田区文化 センター	基調講演「今、あらためて振り返る 阪神・淡路大震災」 公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会 理事 嘉田真典氏 パネルディスカッション 「それぞれの立場から見た震災」～未来へつなぐ防災への思い～ 兵庫県危機管理部災害対策課 課長 陰山暁介氏 社会福祉法人神戸市社会福祉協議会 地域支援部担当課長 長谷部治氏 弁護士、兵庫県震災復興研究センター 共同代表 津久井進氏 手話通訳、要約筆記付き	66
神戸市	全県	100年先に残そう。阪 神淡路大震災1.17絵 本プロジェクト	アトリエ太陽の子・ポ ランティア部	令和7年1月11日、 2月24日	空地区会館	・「1.17から30年。神戸の子どもたちからの発信」シンポジウムの開催 阪神淡路大震災から30年目の節目に向け、神戸の子ども達が2年間かけ、阪神・淡路 大震災を語り継ぐ絵本を作成。その絵本を制作をお披露目するシンポジウムを開催。会 場には絵本の原画を展示。 ・「第8回気仙沼⇄神戸・復興会議」の開催 阪神淡路大震災を強く思う私たちと東日本大震災復興に携わってこられた方々と語ら います。	300
阪神北	全県	防災フェア ～皆で守 ろう わが街・いのち ～	能勢口商業協同組合	12月7日	「藤ノ木さんかく広場」 と隣接の「ポケット パーク」	・水消火器実射体験 ・救急講習(AEDの取扱い説明)・模擬119番通報 ・防災の話 ・炊き出し ・地震パネル展示 ・消防車の展示 ・ライブパフォーマンス(チアリーダーディングなど)など ・被災者鎮魂イルミネーション点灯(12月7日～12月25日) ※地域住民、地元関商業団体等の協賛・協力を得て実施します。	600

令和6年度ひょうご安全の推進事業助成金交付決定一覧表【全県・地域事業】

県民局	事業区分	事業名	実施団体名	実施日	実施場所	主な実施内容	参加人数 (実績)
神戸	地域	阪神・淡路大震災復興祈念とんどまつりを通じて安全・安心な街づくり	特定非営利活動法人大原・桂木OKサポート	①1月19日 ②3月30日	①大原山公園グラウンド ②神戸市立桂木小学校運動場	1.令和7年1月19日(日)【とんどまつり、防災訓練】 当地域では、阪神淡路大震災への鎮魂と街の復旧・復興の願いを込めて「1月17日」を決して忘れることのないように、また、次世代の子どもたちに災害の恐ろしさ、人と人との強い絆づくりの大切さをこの行事を通じて培う。例年同様に、「希望の灯り」を使つての行事を実施します。この事業には、自治会、管理組合、地域内各種団体も参加しての防災訓練として位置づけしております。訓練は次のとおりです。 消火訓練 ① 子ども達による消火活動(バケツリレー) ② 炊き出し訓練 ・防災福祉コミュニティ・中学生ボランティアによる炊き出し訓練 2. 令和7年3月30日(日)【LINEによる地域住民安否確認訓練】 地域防災計画を策定(お助けガイド)しており、それをもとにして、神戸市と協定をしている要援護者支援台帳を活用して災害時における住民の安否確認と避難誘導を毎年訓練しております。今年度も要援護を必要とする高齢者、障がいの方々(いわゆる災害弱者)を各自治会の班単位で住民協力の下、安全な場所(避難所)へ避難誘導をする。安否確認訓練では、民生委員、友愛訪問ボランティア、地域住民ボランティアによる協力体制を構築し、避難者と支援者とをマッチングさせて避難する。また、地域の緊急非常連絡体制(緊急連絡システム)の活用での情報伝達には LINE登録により避難状況や被害状況をLINEで報告する訓練を行う。	1000
阪神南	全県	阪神・淡路大震災30年メモリアル 防災シンポジウム	阪神・淡路大震災から30年メモリアル防災シンポジウム実行委員会	2月8日	武庫川女子大学(中央キャンパス)	大学と地域自治会が協力して、阪神・淡路大震災30年を機に、当時を振り返ると共に、その後の数々の震災経験から得られる地域防災に関する話題提供(講演)の後、県民の防災意識を高めるべく取り組み事例や地域での「自助・共助」の大切さについて演者と地域住民を交えてディスカッションを行う予定。	400
神戸	全県	PRAY FROM KOB E 2025 ~明日(あす)につなげるコンサート~	兵庫県合唱連盟	1月26日 3月8日	1/26 神戸文化ホール大ホール 3/8 元町1番街商店街	1/26 今回も部門毎(少年少女、中学・高校、女声、一般)及び東日本大震災の被災地から招聘した合唱団とともに合同演奏を行います。最後に会場全員で被災地に向けて全体合唱を行います。 3/8 10 団体程度の街頭演奏	433
神戸	全県	阪神・淡路大震災30年メモリアル公演 音楽劇「6年3組の阪神大震災」	一般社団法人劇団自由人会	令和7年 1月12日~ 1月13日	新開地アートひろばホール	音楽劇「6年3組の阪神大震災」の上演 ◆作品内容◆被災した児童の綴った学級通信を基に劇化。クラスメイトの死や震災で発見した大切な事、生きる意味など、児童の綴ったありのままの文章を台詞として構成し、これまでに20年以上全国巡演を続けてきた劇団の代表作。今回は幅広い世代が観劇しやすい工夫を取り入れ、音楽・ダンス・ストンプ等を取り入れた新演出に挑戦する。震災の継承と鎮魂、そして生命力あふれるメッセージにあふれた音楽劇です。 ◆公演日時◆R7年1月12(日)15:30開演/19:00開演、1月13日(月祝)11:30開演/14:30開演※計4回公演※上演時間90分	405
神戸	全県	阪神・淡路大震災30年メモリアル集会	阪神・淡路大震災救援・復興兵庫県民会議	令和7年 1月17日	長田区文化センター別館 ピフレホール	阪神・淡路大震災30年を迎えて今後に伝え備え繋ぐ、能登半島地震・豪雨災害の現状と復興への課題について考える集会にします。 記念講演 テーマ「阪神・淡路大震災30年を振り返り、備え伝え繋ぐ」(仮) 講師 神戸大学名誉教授 室崎益輝氏 被災地報告 テーマ「能登半島地震と豪雨災害の現状と復興への課題について」(仮) 講師 石川県災害対策連絡会 長曾輝夫氏	280